

地産地消用の新ブランド肉

とよたひまわりポーク 発売

豊田市産の新しいブランド豚肉「とよたひまわりポーク」が発表され、今月から販売を始めた。農田市の花「ひまわり」の種子を飼料に加えて育てた地産地消用のイメージ・ブランド肉だ。

豚熟からの再起に

市内3農家が結束

2019年に全国で感染拡大した豚熟(豚コレラ)は豊田市内にも大きな爪痕を残した。5軒あつた養豚農家のうち操業を再開できたのは3軒だけだ。

今回の新ブランド立ち上げは、「奇跡的に再開できた養豚農家として出来ることはないだろう」と、トヨタファーム(堀本町)の鈴木雄一さんが他の養豚

農家2社(鶴郷田畜産・鶴内山)に声を掛け、始めたもの。豚熟で大ダメージ・ブランド肉だ。

農家2社(鶴郷田畜産・鶴内山)に声を掛け、始めたもの。豚熟で大ダメージ・ブランド肉だ。

豚熟から復活の養豚3農家で

農田、ホ
ン高橋店、
マックスバ

12月
Q

じ」と話された。
ひまわりポーク
ロゴマーク募集

の種子は輸入物だが、尋ねてみると「市内のどのスーパーでも手頃な値段で販売され、企業の社員食堂や学校給食にも使われるようだ。豚熟が再開したら声を掛けたいそうだ。

トヨタファームにはエコファームで育てたブランド豚肉「三州豚」があるが、新しい「とよたひまわりポーク」はコンセプトが全く違う。ブランドの制約を取り払い、養豚農家、食肉関連、飲食店が自由に関わってみるが、これが得られるようにならなかった苦しい経験があったからだといふ。思えたのは、豚熟で約1年も操業停止せざるを得なかつた苦しい経験があつたからだといふ。

鈴木さんは「養豚農家はどこにかく地域に愛されないといけません」「関係みんなが利益を得ながら、長く続けていきたく」【新見克也】

今年は、豚熟で約1年も操業停止せざるを得なかつた苦しい経験があつたからだといふ。思えたのは、豚熟で約1年も操業停止せざるを得なかつた苦しい経験があつたからだといふ。

トヨタファーム 鋤柄雄一さん

「豊田市内の各スーパーで買えるお手頃値段の肉に」



豊田市立農業高専
の鈴木雄一さん

みくさ

豊田市立農業高専
の鈴木雄一さん

の鈴木雄一さん